



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

港育成園30周年記念行事を開催しました

「お祝い会～お祭り屋台（あそVIVA）」

施設長 松本 源太郎

令和元年8月29日に港育成園設立30周年の記念行事を開催しました。

今回のイベントの主旨は二つあり、一つは施設を利用されている皆様と30周年のお祝いをする事。もう一つは地域の皆様に感謝をお伝えするということです。

どのように港育成園らしく感謝の気持ちを皆様にお伝えできるか・・・との思いで今回の行事の内容を企画し、「お祝い会」（式典）と「お祭り屋台（あそVIVA）」の二部構成としました。

当日は利用者44名と保護者30名が参加され賑やかな会となりました。

また、来賓として港区役所（保健福祉センター）と港区社協、そして地域でもお世話になっている町会長と女性部長、第三者委員としてご活躍いただいている6名の皆様にご臨席いただきました。

一部の「お祝い会」は、「式典」という体は持ちつつ、より柔らかく気持ちが前面に出るようなものになりました。

【小泉理事長から～感謝の気持ちをお伝えして～】

最初に小泉理事長の挨拶として、港育成園の設立時の流れから、近年の施設の状況や福祉を取り巻く状況などを交えて、これからの地域と港育成園との関わりについてお話していただき、皆様にお祝いと感謝の気持ちをお伝えしました。

その後、港区役所保健福祉課の橋本課長代理からご祝辞をいただきました。橋本様には以前から港育成園と関わりを持っていただいておりますので、暖かい、とてもうれしいお言葉をいただきました。

式典の後は、利用者の方々が運動会で披露した「USA（DA・PUMP）」のダンスをこの日のために改めて練習して披露しました。

「お祝い会」を終えると、次は「お祭り屋台」のイベント（あそVIVA）に移り、食堂を使って、フランクフルト、焼きそば、アイスクリームの屋台やゲームコーナーを設け、思い思いに楽しんでいただきました。

食べ物の屋台では保護者有志のお手伝いを中心となり、会が始まる前から下ごしらえの準備をしていただき、チケットと交換に食べ物をお渡ししていただいたり、ゲームコーナーを盛り上げていただいたりで大変お世話になりました。

参加者一同楽しいひと時を過ごし、最後に保護者会長と私、港育成園施設長の閉会の挨拶で締めくくりました。

・・・会を終えて・・・

港育成園の利用者の登録番号が200番を超えています。その保護者数は倍と単純に考えても400人以上となります。これまでの30年で、施設長や支援者、法人や親の会、地域の方々など、関わっていただいた人数を数えたら驚くような数になると思います。その方々を全員ご招待することはこの機会では無理でしたが、その歴史に思いを馳せながら、改めて感謝の気持ちを深く感じました。

